

登録コード	E8065400	開講年度	2026			
授業科目	卒業研究				担当教員	西 一夫
英文授業名	Graduation Study				副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室	教育研究室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			教育全般の専門的な知識・技能に基づく学習活動を担うために必要な知見を踏まえ、児童・生徒の幸せのために働くことへの意欲を高め、よりよい教育の実現を目指して日々の努力と研鑽を続けることができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			国語科学習のあらゆる場面における学習活動を想定した専門的な知識・技能を習得して、国語科教師としての実践的な学習活動を主導するための専門的知識・技能を習得して生徒の学習活動の支援ができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	個々の受講生の研究課題に応じて指導をおこない、課題解決に向けての調査と分析・考察をおこなう。その上で得た結論とそれに到達する過程を緻密に論述できる文章を作成する。 また対象文献や作品に対する的確な解釈をおこなえるようにする。					
(5)授業計画	4月～6月(基礎的作業)：研究課題の設定・先行研究文献の集成・注釈書などの集成 7月～9月(先行研究の整理と対象作品分析)：研究課題に関連する先行研究の整理と問題点の指摘。対象作品の表現分析 10月～11月(素稿作成期間)：素稿作成期間(研究論文の章立て確定と素稿作成をおこなう) 12月～1月(完成稿作成)：素稿に基づく論述修正と全体の調整をおこない最終稿を作成する 1月末日：完成稿提出(研究室の規格にしたがった形式で完成稿を提出する)、卒業研究発表会					
(6)成績評価の方法	【基礎的作業】【先行研究の整理と対象作品分析】：確かな調査・考察に関する評価（30％） 【素稿作成期間】【完成稿作成】：各自の研究主題についての的確な文章を用いて論理的に記述する能力と内容の評価（50％） 【論文審査】：コース主催の卒業研究発表会での発表内容と質疑応答によって評価（20％） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	秀：授業内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、高度な活動成果を示している。 優：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、良好な活動成果を示している。 良：授業内容のおおよそを理解し、講義内容を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題等に誠実に取り組み、授業ねらいで求める活動成果の三分の一程度の達成が認められる。 可：授業内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可：授業出席以外は可とすべき内容を満たさない。					
(8)事前事後学習の内容	事前学習：定められた研究テーマに即して計画的な研究を進め、その内容をレポートとして纏める。 事後学習：討論での意見を踏まえて内容の修正や改稿をおこない、研究内容を充実させる。 この授業は90時間の学修を必要とする内容である。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	受講学生と連絡調整の上、指導日時を決定していく。そのため日程調整には余裕をもって臨むこと。また報告資料と実際の論文原稿とは質を異にするので留意すること。 完成稿は400字詰原稿用紙換算でおおむね50枚以上100枚以内とする。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	原則的に指導時に直接おこなうことが望ましい。個人的な相談・質問の場合はメールにて。また、オフィスアワーを利用してもよい。対応可能な場合は、その他の時間でも可。 研究室：中校舎4F 408 内線番号：4072 アドレス：nishika@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	使用しない。					
【参考文献】	その都度、適宜指示する。					